

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大阪      グループ：      1班      2020.09.06

## SNSでのトラブルを無くすには



# SNSのデメリット・メリット

デメリット	メリット
<ul style="list-style-type: none"><li>● 抑えている感情が出やすい</li><li>● 依存してしまう可能性がある</li><li>● 誹謗中傷</li><li>● 匿名によるトラブル</li><li>● 投稿を削除できない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 趣味を共有できる</li><li>● 最新情報を得ることができる</li><li>● 会えない人とコミュニケーションができる</li><li>● 偏見なく意見を言える</li><li>● エンターテインメント</li><li>● 学びの場になる</li></ul>

# 誹謗中傷とは

誹謗中傷：根拠のない悪口を言いふらして他人の名誉を損なう行いのこと

→自殺に繋がる事件も多数

## 誹謗中傷の原因

- 匿名であること
- 抑えている感情がでやすい
- 軽い気持ちでの投稿
- 相手の反応がわからない

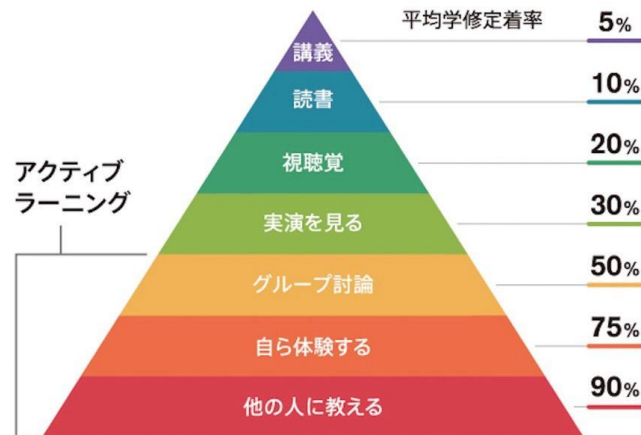


リテラシーの無さ

# 解決法



ラーニングピラミッド



出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

ITの授業でソーシャルメディアリテラシーかつ  
アクティブラーニングを導入

# 参考文献

- <https://www.weblio.jp/content/%E8%AA%B9%E8%AC%97%E4%B8%AD%E5%82%B7>
- <https://news.yahoo.co.jp/articles/8c89fa6f19444181456dc906519fb942d1794807>
- <https://monitor.adish.co.jp/glossary/social-literacy/#:~:text=%E5%80%8B%E4%BA%BA%E3%81%8C%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A3%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2%E3%81%AB,%E8%AA%B2%E9%A1%8C%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%80%82>
- <https://www.nucba.ac.jp/active-learning/>

参考文献がたくさんあるので自分で調べてみてください

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大阪

グループ： 2班

2020.09.06

## 情報と生活が偏らないように

# 自粛期間の生活

- Aさん：①受験勉強に関して先生からの講義動画を見て、手書きの課題を提出した。②修学旅行がなくなった。
- Bさん：①meetで授業、オンラインでテスト②オンラインで文化祭
- Cさん：①動画を視聴して、課題に取り組む。②オンライン朝学活&終学活
- D：①各教科でオンライン授業と、送られてきた動画で分かれていた。
- Eさん：①スタディサプリで、指定された動画を視聴する。



# 新しい生活様式のデメリット

- Aさん：修学旅行行けなかった。
- Bさん：人によってネット知識・環境が異なる
- Cさん：オンライン授業しながら、スマホとかでサポートしてほしかった。
- Dさん：自粛で外出ができなかった。
- Eさん：生徒全員に説明が行き渡ってなくて、不便だった。

# 新しい生活様式の懸念

- ・生徒によってネットやパソコンの使い方に関して知識の差があったり、学校によってICT教育の差があることにより、オンライン授業などについていけず、大学進学など将来にも差が出る可能性がある。
- ・災害時にネットが繋がらない時の処置として、携帯会社が動くより、国の自衛隊が動くほうが早い。（地域によっては防災wifi）

# 新しい生活様式の解決策

- ・ 先生がネットについて学び、生徒が困らないように対応する
- ・ ネットに強い先生を多く置く（特に公立高校）
- ・ 半年に一回オンライン授業を実施して慣らしておく
- ・ 国がある程度オンラインを統一して困らないようにする

⇒ 一か月に一度、公立高校やオンラインについて遅れている学校を重点的に、ネットに強い先生のサポートを受けオンライン授業を義務化する

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大阪

グループ：3班

2020.09.06

## Fair Every School

みんなが使いやすいツールを求めて・・・



# 自粛中の学習の問題点

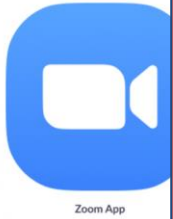
- ・ 学校によって対応が分かれた
- ・ ツールが多かった
- ・ 先生が使いこなせてなかった

# 改善策

- ・ 国が安心安全で信頼の持てる全国で統一した誰でも使える教育アプリを作る
- ・ 先生向け使い方講座研修、教育実習、教員免許取るときに学ぶ
- ・ 年代に合わせて教育アプリやSNSの使い方を学校を通して学ぶ
- ・ 家庭の収入ごとに支援 長い時間をかけてお金を少しずつ払っていく
- ・ 学校に行かず、学べる環境の構築

FES

G



FES



Meet

Class

- 友達と会えなくて寂しかった
- 電子機器を使う時間が増えた
- ネットもが増えた（ゲーム）
- 運動がしたくなかった（太陽を浴びれない）
- 受験の情報が得られず不安だった（オーキャン）
- 勉強を家でする人としらない人で大きな差が生まれた
- 学校に行きたくなかった（直接会いたくなかった）



# 自粛中の変化

コミュニケーションをする機会が減った

運動をそもそもしなければ、運動する機会は変化しなかった

もの足りなさがあった（何かに向かって頑張ることが少なかった）

アクションがなさすぎて、時間が経つのが早かった

新しいことに挑戦（ストレッチや筋トレを始めた）

部活がなくて、運動ができなかった（思い通りにメニューが進まなかった）

勉強時間が減った（集中ができなかった・話が聞けなかったり）

## 自粛期間    トラブル

身の回り：

コミュニケーションがオンライン→意思疎通がしにくい  
通信、機材のトラブル

自粛警察に叩かれる「外出るな！」

家族間でのトラブル

マスク・アルコール、スイッチ 入手困難 高額転売

医療関係者、感染者への差別、誹謗中傷

高齢者が電子機器を使いづらい

ツールが多すぎる(ズーム、ミーティングなど)

# 自粛期間 メリット

環境が良くなる

自分がしたいことができる 時間が縛られない(学校などに邪魔されない)

ICT化が進んだ

# オンラインの難しさ

## 教育格差

みんながオンラインに参加できなかった

レスポンスが遅い、先生によっては返ってこない

先生が電子機器を使いこなせない場合がある (大人も子供も両方)

クラッシー・ロイノートのサーバー問題

電子化が進んでいるところとそうでないところの差

公立と私立の差

生徒も把握できていない場合が多い

学校側の対応

どこを見ればいいのかわからない

電子機器、ICTを勉強する環境を構築する必要がある、学べる機会を増やす

②

動画配信+週2 登校 別に来なくても良い

夏休み 変わりなし(1週間のみ)

午前、午後分かれて登校

内容が若干変わる

夏休み 短い

日にちによって登校 内容が若干変わる

夏休み 一カ月→一週間

オンライン授業

夏休み 変わりなし 2か月

# 共通認識

生徒だけでなく、先生も使えるように  
誰でも使えるものを  
ネットに弱い人でも使いやすいようなアプリ

影響力の高い物を使って広める  
SNSの利用→若者に知ってもらえる  
アニメ、ゲーム：影響力が大きい

# まず流れ(自粛中の学習の問題点)

- ①自粛中の問題点 教育に着目→公立・私学 格差があった
- ②改善点：その説明 iPadが支給されてたり ペーパーレス化
- ③アプリの内容説明



# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大阪

グループ：4班

2020.09.06

## ドラえもん時代の学習形態

～オンライン授業の今後の発展～

# 自粛期間を通して感じたこと

- 夏休みになぜオンライン授業を活用しないのか？ -

今後も残していきたいオンライン講義について話し合いました。



## 高校生が考えた！ 新しいオンライン授業の活用法

① 夏場・冬場 = 寒暖差の都合により登校が厳しい

→ 暑さ・寒さが厳しい時期はオンライン授業に切

り替える

## オンライン授業のデメリット

- ① 各家庭にWi-Fiなどの環境を設備することが必要となる
- ② 対面でのコミュニケーションの減少による人間関係の希薄化

## オンライン授業のデメリットと改善策

問題①：Wi-Fi等の環境整備

解決策：市町村での取組を強化

問題②：人間関係の構築

解決策：コミュニケーションを重視した授業を増やす

教科の学習をオンライン授業を利用

## オンライン授業の今後の発展

### 学校形態の変化

家＝学習の場

学校＝コミュニケーションの場

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大阪

グループ：5班

2020.09.06

## ～ICTを使うまでのサポート～



# 目的

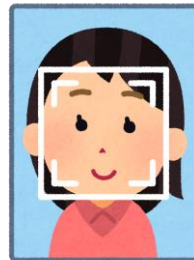
目的：ICT関係上のトラブルやを自分で調べる事なく、  
自分での解決をサポートする

目的を達成するためにすべきこと：

遠隔操作でトラブルの解決方法を提示する

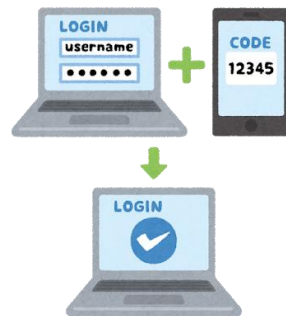
シンプルな説明でわかりやすく

一回でわかるように丁寧な誘導





# ログイン方法



ノーマル設定：声と指紋認証で二段階認証

呼び方は自分で決めることが可能（初期の設定方法は記述で）

スペシャル設定：特徴的な自分の持ち物と顔認証で  
判断でログイン

→AIが特徴を捉え判断

# サービスの方法

ログイン方法で呼びかけ困っていることを伝える。

初めて困った時：遠隔操作で提示し教えてくれる

2回目以降：解決できるよう促してくれる

こうすることによって、問題解決能力をステップを踏んで身につけることができる

## プライバシーの問題等

問題例 1 : 似たような声が反応する (親子等)

→こうなってくるとプライバシーを守れない

解決案 : 二段階認証

問題例 2 : 遠隔操作の時に権利を渡している

解決案 : 項目ごとの確認や認証は本人が行う

遠隔操作に抵抗がある場合は動画で解決する

(字幕サービス等も対応あり)



## 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大阪      グループ：      6班      2020.09.06

# ICTを使い、教育格差をなくす！

～withコロナで見えてきた問題点～

# ICT活用のメリット・デメリット

## メリット

- ・ 広範囲に表示できる
- ・ 授業や仕事などの活用(便利)
- ・ 誰でもどこでも簡単に使える



## デメリット

- ・ 依存症しすぎると回線が不便
- ・ 誹謗中傷の問題
- ・ 金銭的な問題から利用が難しい

# 新しい生活様式

- ・ Zoomの利用→他校との交流を盛んにできる  
(過疎化の地域との交流できる)
- ・ 田舎と都会の教育格差をなくす



# 教育格差



- ・ 都会に有名な講師、教師が集まる
- 田舎の人は十分な教育を受けられない状況
- オンラインを使えば良い授業を田舎でも受けられる
- このオンライン化の流れを利<sup>用</sup>

でも金銭的な問題が...



# どこから資金調達するのか？

- 政府の資金の使い方の分配の調整
- 寄付からの資金調達



# 改善点

- 学校からの寄付をもらう(申請)
- すべて無線
- iPadの配布
- ネット環境を良くする
- 税金の使い方の改善